令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	公　民	科目	現代社会	単位数	２	学年	３	科	全学科

１、科目の目標

現代社会の諸問題について考察し、それらに関する基礎的知識を学ぶなかで、国内外の社会にどう関わるべきか、また、社会をより良いものにするためにはどのように考え、行動すればよいか主体的に考える態度を養う。

２、使用教科書・副教材

教科書　：　最新現代社会 新訂版（実教出版）　　新詳高等地図（帝国書院）
副教材　：　新編テーマ別資料 現代社会 2023（とうほう）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	第１部　私たちの生きる社会 第１章　地球環境問題 第３章　生命科学と情報技術の課題 第２部　現代の社会と人間（１青年期と自己形成） 第１章　自分らしく生きる	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	第２部　現代の社会と人間（３現代の経済社会と国民生活） 第１章　現代の経済社会 経済体制の変容　／　市場のしくみ　／　市場の失敗 現代の企業　／　国民所得　／　経済成長と国民の福祉 財政の役割と租税　／　日本の財政の課題 第２章　日本経済の特質と国民生活 労働問題と労働者の権利　／　こんにちの労働問題	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	第２部　現代の社会と人間（２現代の民主政治と日本国憲法） 第２章　日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立　／　自由に生きる権利　／　平等に生きる権利 平和主義とわが国の安全　／　こんにちの防衛問題 他	学年末考査	２２

４、評価の方法

主体的な言語活動		・生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める ・授業内容の説明や発問はできるだけわかりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する ・ニュース・新聞記事など時事問題を扱い、社会的関心を高めるように努める
	関心･意欲･態度	出席、発言、学習への自己調整力など様々な角度から評価する
	思考･判断･表現	発問に対する解答や、それに至る思考過程および反応を評価する
	観察･実験の技能	視聴覚教材を扱い、各資料からの読解や分析を重視する
	知識･理解	学習内容に対する定着度を評価する

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・「自分はどうしたら学びが深まるか」を常に大切にし、自分の学びの方法を試行錯誤すること
・欠課遅刻をなるべく減らしてのぞむこと
・「誰かに教えてもらう」姿勢ではなく、「自分の頭で考えながら学ぶ」姿勢になること
・できるできない関係なく、「前回よりも自分はどう変わったか」を自覚できることが重要と考えること